



知る。学ぶ。考える。 いっしょに考える時間を共有しませんか？

**参加無料**

## 〈2019年10～11月期〉北翔大学 札幌円山キャンパス 北方圏学術情報センター連続市民講座

～多世代の人々が共創して地域づくりを行う社会の実現に向けて～



当日参加可

「世界の学校、日本の教室」  
—新しい時代の教育について考える—

10/12<sup>土</sup>

10:00～11:30  
1F 多目的ホール

申込不要

OECD生徒の学習到達度調査(PISA2018)の結果が12月上旬に公表予定ですが、それを前に海外の教育事情、国際学力調査が示す日本の教育のもつ強み・底力について、ウプサラ大学(スウェーデン)教育学部の客員研究員でもある信州大学准教授の林 寛平先生と共に振り返ります。また、現在の学び方の最新の研究事情や新しい時代の教育について海外の教育と比較しながら考えます。是非、一緒に皆さんの思い描く未来の学校について思いを巡らせてみませんか。

企画・進行 石塚誠之(北翔大学教育文化学部教育学科講師)

講師 林 寛平(信州大学大学院教育学研究科准教授)

1981年生まれ。専門は比較教育学、教育行政学。スウェーデンの教育改革や国際的な教育政策市場の分析に関心がある。著書に末松裕基・林寛平編著『未来をつかむ学級経営・学級のリアル・ロマン・キボウ』(学文社、2016)など。研究室ブログは「信州大学比較教育学研究室(<https://shinshuedu.blogspot.com>)」

当日参加可

札幌市時計台模型へのプロジェクションマッピングと  
時計台の歴史パネル展

11/20<sup>水</sup>～12/1<sup>日</sup>

10:00～17:00  
1F ギャラリーA

申込不要

時計台の  
歴史レクチャー

11/23<sup>土</sup> 13:30～15:00

20:00まで  
プロジェクション  
展示

札幌の発展を見守り続ける歴史的建造物「札幌市時計台」は、札幌農学校(現北大)の教室兼屋内軍事訓練場(演武場)として1878年に建設されました。本展では、時計台の歴代の塗装変遷や創作映像を大型模型に投影するプロジェクションマッピング(北翔大芸術学科制作)と、時計台の歴史を解説する大判パネル16枚(札幌市市民文化局制作)を展示します。また、11月23日(土)13:30～15:00には、市民ボランティアガイドの吉村邦夫氏が時計台の歴史を楽しく語ります。ぜひご参加ください。

企画・構成 北方圏学術情報センター共同研究プロジェクト美術グループ  
小室晴陽(北翔大学教育文化学部芸術学科教授)

レクチャー講師 吉村邦夫(札幌市時計台運営協議会) 後援 札幌市

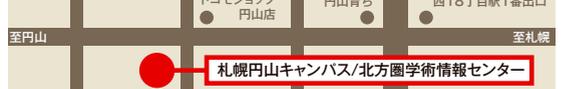
**北翔大学**  
大学院/短期大学部

北翔大学 札幌円山キャンパス 北方圏学術情報センター  
〒064-0801 札幌市中央区南1条西22丁目1番1号

✉ [porto@hokusho-u.ac.jp](mailto:porto@hokusho-u.ac.jp)

☎ 011-618-7711(月曜日～金曜日 9時～17時)

Access map



▶地下鉄東西線「西18丁目駅」①番出口から徒歩7分  
※駐車場のご用意はございません。お車でお越しの際は周辺のコインパーキングをご利用ください。